

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月3日

上場会社名 株式会社 ほくやく・竹山ホールディングス 上場取引所 札
 コード番号 3055 URL <http://www.hokutake.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 眞鍋 雅昭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営管理 (氏名) 巖 友弘 TEL 011-633-1030
 統括本部副本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|------|---|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第1四半期 | 51,085 | 3.5 | 392 | — | 637 | 198.5 | 291 | 295.7 |
| 24年3月期第1四半期 | 49,371 | 1.4 | △52 | — | 213 | △50.8 | 73 | △64.9 |

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 242百万円 (327.4%) 24年3月期第1四半期 56百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期第1四半期 | 11.61 | — |
| 24年3月期第1四半期 | 2.94 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 25年3月期第1四半期 | 107,488 | 39,046 | 36.3 | 1,554.63 |
| 24年3月期 | 105,862 | 38,954 | 36.8 | 1,550.99 |

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 39,046百万円 24年3月期 38,954百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | — | 6.00 | — | 6.00 | 12.00 |
| 25年3月期 | — | — | — | — | — |
| 25年3月期(予想) | — | 6.00 | — | 6.00 | 12.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 102,000 | 2.2 | 1,000 | 91.1 | 1,350 | 43.5 | 650 | 41.5 | 25.88 |
| 通期 | 204,000 | 0.8 | 2,050 | 12.6 | 2,700 | 4.8 | 1,300 | 10.9 | 51.76 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 25年3月期1Q | 25,976,221株 | 24年3月期 | 25,976,221株 |
| ② 期末自己株式数 | 25年3月期1Q | 860,329株 | 24年3月期 | 860,329株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 25年3月期1Q | 25,115,892株 | 24年3月期1Q | 25,116,291株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社および当社グループが現時点で入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 3 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 11 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 11 |
| (6) セグメント情報等 | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要などの内需が牽引し穏やかな回復基調にあるものの、欧州債務危機による世界経済の減速懸念や長引く円高、電力不足などから景気の先行きには依然として不透明感が漂っております。

医療業界におきましては、平成24年度4月には診療報酬と介護報酬の同時改定が行われました。診療報酬はわずかながらプラスに改定されましたが、薬価および償還価格が大幅に引下げられ厳しい局面が続いております。

このような状況において、当社グループでは、本年4月から第二次中期3ヶ年計画がスタートし、各事業の更なる強化と事業間連携の具現化によるお得意先へのサービス機能強化を推進しております。また、昨年発足した「キメラプロジェクト」では、グループ内部のIT基盤再構築を目的として、基幹システム統合やお得意先支援機能開発も予定どおり進行しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は510億85百万円（前年同期比3.5%増）となりました。また、営業利益は3億92百万円（前年同期は営業損失52百万円）、経常利益は6億37百万円（前年同期比198.5%増）、四半期純利益は2億91百万円（同295.7%増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりです。

(医薬品事業)

医薬品事業におきましては、4月の薬価改定による薬価ベース6.0%の引下げが実施され、後発医薬品が拡大基調で推移する中で先行き不透明な市場環境が続いております。このような中、売上高は、高齢化社会の進展を背景として需要が拡大している生活習慣病薬、抗がん剤、中枢神経系病薬などが前期に引き続き堅調に推移しております。一方、利益面におきましては、医薬品の製品価値に見合った適正な価格交渉を継続しており、当四半期におきましては一定の効果を上げることができました。

その結果、売上高は403億43百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益は2億81百万円（前年同期は営業損失2億92百万円）となりました。

(医療機器事業)

医療機器事業におきましては、画像診断機器をはじめ眼科製品・手術関連機器などの大型機器の買い替え需要や新築案件に伴う受注もあり、売上高は順調に推移いたしました。利益面では、4月の償還価格の引下げの影響による納入価格の低下傾向などにより、医療材料・機器ともに厳しい状況で推移しております。

その結果、売上高は97億62百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は59百万円（同17.9%減）となりました。

(調剤事業)

調剤事業におきましては、4月の調剤報酬改定による調剤技術料への影響はわずかでしたが、薬価引下げによる薬剤料収入の落ち込みが業績に影響を与えております。新規出店や高薬価品の売上げへの寄与はありましたが、薬価引下げの影響をカバーするまでには至らず、利益も厳しい状況で推移いたしました。

その結果、売上高20億49百万円（前年同期比0.7%減）、営業損失6百万円（前年同期は営業利益81百万円）となりました。

(介護事業)

介護事業におきましては、品揃えの充実と営業員の増員・育成による迅速なサービス提供体制の強化を図った結果、レンタル件数が増加し、売上・利益に大きく寄与しました。

その結果、売上高は4億32百万円（前年同期比11.4%増）、営業利益は48百万円（同5.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における現金および現金同等物(以下「資金」という。)は、仕入債務の増加および法人税等の支払により、当第1四半期連結累計期間末には、208億54百万円(前年同期比18.7%増)となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は13億78百万円(前年同期比483.7%増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が5億17百万円(同152.8%増)、仕入債務の増加15億80百万円(前年同期は10億70百万円減少)および法人税等の支払額11億68百万円(前年同期比644.0%増)によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2億78百万円(前年同期は獲得した資金4百万円)となりました。これは主に、有形固定資産の取得92百万円(前年同期比332.8%増)、無形固定資産の取得1億58百万円(同163.3%増)および貸付による支出18百万円(前年同期は0百万円)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億53百万円(前年同期比4.9%減)となりました。これは主に、配当金の支払1億32百万円(同0.4%減)およびリース債務の返済20百万円(同25.7%減)によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月15日の決算短信で発表しました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ増加しておりますが、金額が軽微なため記載を省略しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 20,050 | 20,995 |
| 受取手形及び売掛金 | 45,367 | 45,989 |
| 商品及び製品 | 12,888 | 13,200 |
| 繰延税金資産 | 603 | 1,316 |
| その他 | 5,247 | 4,567 |
| 貸倒引当金 | △40 | △25 |
| 流動資産合計 | 84,117 | 86,044 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 5,728 | 5,667 |
| 土地 | 5,767 | 5,764 |
| その他（純額） | 390 | 376 |
| 有形固定資産合計 | 11,885 | 11,809 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 36 | 17 |
| ソフトウェア | 829 | 739 |
| その他 | 151 | 217 |
| 無形固定資産合計 | 1,017 | 973 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 7,391 | 7,234 |
| 長期売掛金 | 614 | 588 |
| 破産更生債権等 | 49 | 49 |
| 長期貸付金 | 151 | 154 |
| 繰延税金資産 | 122 | 121 |
| その他 | 924 | 924 |
| 貸倒引当金 | △411 | △411 |
| 投資その他の資産合計 | 8,842 | 8,661 |
| 固定資産合計 | 21,745 | 21,444 |
| 資産合計 | 105,862 | 107,488 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 62,235 | 63,816 |
| 未払法人税等 | 1,180 | 939 |
| 賞与引当金 | 669 | 1,046 |
| 役員賞与引当金 | 115 | 27 |
| 返品調整引当金 | 52 | 52 |
| その他 | 977 | 932 |
| 流動負債合計 | 65,230 | 66,814 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 571 | 560 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 142 | 142 |
| 退職給付引当金 | 271 | 278 |
| 長期未払金 | 457 | 411 |
| 資産除去債務 | 206 | 207 |
| その他 | 28 | 27 |
| 固定負債合計 | 1,677 | 1,627 |
| 負債合計 | 66,907 | 68,442 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,000 | 1,000 |
| 資本剰余金 | 12,756 | 12,756 |
| 利益剰余金 | 25,608 | 25,749 |
| 自己株式 | △425 | △425 |
| 株主資本合計 | 38,938 | 39,079 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,198 | 1,148 |
| 土地再評価差額金 | △1,181 | △1,181 |
| その他の包括利益累計額合計 | 16 | △33 |
| 純資産合計 | 38,954 | 39,046 |
| 負債純資産合計 | 105,862 | 107,488 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日) |
|---------------|---|---|
| 売上高 | 49,371 | 51,085 |
| 売上原価 | 46,088 | 47,336 |
| 売上総利益 | 3,282 | 3,748 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 荷造費 | 185 | 191 |
| 給料 | 1,418 | 1,486 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 23 | 26 |
| 賞与引当金繰入額 | 342 | 340 |
| 退職給付費用 | 90 | 86 |
| 法定福利及び厚生費 | 270 | 286 |
| 賃借料 | 66 | 63 |
| その他 | 939 | 874 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 3,335 | 3,355 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △52 | 392 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3 | 3 |
| 受取配当金 | 88 | 92 |
| 受取事務手数料 | 100 | 104 |
| 不動産賃貸料 | 13 | 12 |
| 持分法による投資利益 | 14 | 14 |
| 貸倒引当金戻入額 | 27 | 14 |
| その他 | 65 | 37 |
| 営業外収益合計 | 311 | 279 |
| 営業外費用 | | |
| 不動産賃貸原価 | 19 | 14 |
| 遊休資産諸費用 | 14 | 12 |
| その他 | 10 | 7 |
| 営業外費用合計 | 44 | 34 |
| 経常利益 | 213 | 637 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 0 | — |
| 特別利益合計 | 0 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 6 | 0 |
| 固定資産除却損 | 0 | 0 |
| 投資有価証券評価損 | — | 120 |
| 減損損失 | 3 | — |
| その他 | 0 | 0 |
| 特別損失合計 | 9 | 120 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 204 | 517 |

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 法人税、住民税及び事業税 | 273 | 937 |
| 法人税等調整額 | △142 | △711 |
| 法人税等合計 | 130 | 225 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 73 | 291 |
| 四半期純利益 | 73 | 291 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 73 | 291 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △17 | △49 |
| その他の包括利益合計 | △17 | △49 |
| 四半期包括利益 | 56 | 242 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 56 | 242 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 204 | 517 |
| 減価償却費 | 264 | 239 |
| 繰延資産償却額 | 0 | — |
| 減損損失 | 3 | — |
| のれん償却額 | 29 | 19 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △26 | △14 |
| 受取利息及び受取配当金 | △91 | △96 |
| 為替差損益 (△は益) | — | 1 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △14 | △14 |
| 固定資産売却損益 (△は益) | 6 | 0 |
| 固定資産除却損 | 0 | 0 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △0 | 0 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | — | 120 |
| 会員権評価損 | 0 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △1,151 | △596 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 1,630 | △312 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △1,070 | 1,580 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | 132 | △22 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 5 | 7 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 324 | 377 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △33 | △88 |
| 未収入金の増減額 (△は増加) | 222 | 945 |
| 預り金の増減額 (△は減少) | 37 | 49 |
| その他 | △172 | △263 |
| 小計 | 301 | 2,450 |
| 利息及び配当金の受取額 | 91 | 96 |
| 法人税等の支払額 | △156 | △1,168 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 236 | 1,378 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △0 | △0 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △21 | △92 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 95 | 0 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △60 | △158 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △11 | △11 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 0 | 1 |
| 貸付けによる支出 | △0 | △18 |
| 貸付金の回収による収入 | 1 | 1 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 4 | △278 |

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日) |
|----------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 単元未満株式の売買による収入及び支出 | △0 | — |
| 配当金の支払額 | △133 | △132 |
| リース債務の返済による支出 | △28 | △20 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △161 | △153 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | — | △1 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 78 | 944 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 17,493 | 19,910 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 17,571 | 20,854 |

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | | | 合計 (百万円) |
|-----------------------|----------------|-----------------|---------------|---------------|--------------|-------------|
| | 医薬品事業 (百万円) | 医療機器事業 (百万円) | 調剤事業 (百万円) | 介護事業 (百万円) | その他 (百万円) | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 37,672 | 9,050 | 2,057 | 386 | 203 | 49,371 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 1,459 | 87 | 6 | 2 | 586 | 2,141 |
| 計 | 39,132 | 9,138 | 2,063 | 388 | 789 | 51,512 |
| セグメント利益又は損失 (△) | △292 | 72 | 81 | 46 | 200 | 108 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

| 損失 | 金額(百万円) |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント計 | 108 |
| セグメント間取引消去 | △115 |
| のれんの償却額 | △29 |
| たな卸資産の調整額 | △16 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失 | △52 |

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において減損損失を計上しておりますが、金額が軽微なため記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | | | 合計 (百万円) |
|-----------------------|----------------|-----------------|---------------|---------------|--------------|-------------|
| | 医薬品事業 (百万円) | 医療機器事業 (百万円) | 調剤事業 (百万円) | 介護事業 (百万円) | その他 (百万円) | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 38,788 | 9,661 | 2,043 | 430 | 160 | 51,085 |
| セグメント間の内部売上 高又は振替高 | 1,554 | 101 | 5 | 2 | 792 | 2,456 |
| 計 | 40,343 | 9,762 | 2,049 | 432 | 953 | 53,541 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 281 | 59 | △6 | 48 | 247 | 630 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

| 利益 | 金額（百万円） |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント計 | 630 |
| セグメント間取引消去 | △194 |
| のれんの償却額 | △19 |
| たな卸資産の調整額 | △23 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 392 |

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。